

地域社会との緊密な連携を築く

地域とともに子どもの学びを支えるPTA活動

常滑市立西浦南小学校PTA

1 はじめに

本校は全校児童 119 名で、全ての学年が単学級の小規模校である。市中心部には中部国際空港や大型商業施設等があり、にぎわいを見せているが、市の南部に当たる本学区は豊かな田園風景が広がり、由緒ある神社・仏閣があることも特色の一つである。

本校は、「なかよく がんばる 元気な子」を校訓とし、「命を大



【校舎と学校目標】

切にし、たくましく生きる子」「なかよく助け合い、進んで活動する子」「深く考え、自ら学ぶ子」「まちに学び、まちの人とふれあう子」の育成を目標としている。また、学校と家庭、地域との連携を密にし、地域に根ざした活力ある学校を目指している。

地域と児童との関わりは深く、地域で行われる祭礼では、本校からも多くの児童がお囃子や巫女舞いの奉納等に参加している。また、地域の方が進んで児童の登校時の様子を見守ってくれるなど、学校の活動にも大変協力的な地域である。

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

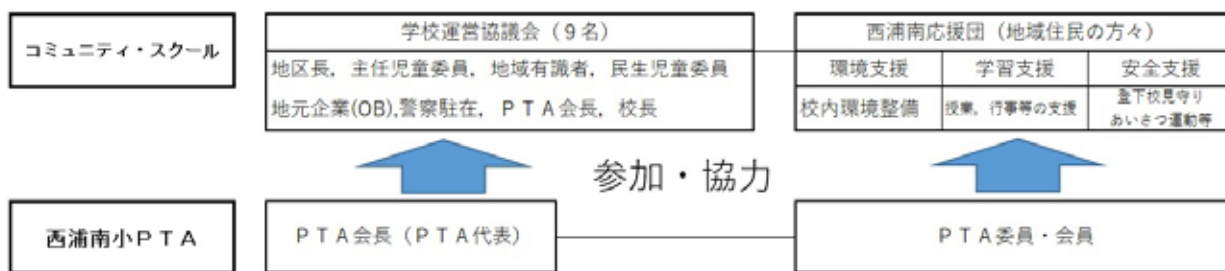
常滑市では、市内の全小中学校において、コミュニティ・スクール制度が導入され、学校・家庭・地域の三者が手を携え、「どのような子どもたちを育てたいのか」「どのような教育を実現するとよいか」という目標やビジョンを共有し、将来の地域の担い手である児童とともに育てていくための取組をしている。

本学区においても、「学校運営協議会」において、学校運営や必要な支援に関する協議が行われている。また、その取組を一層推進するために、学校の教育活動を学習支援や環境支援、安全支援などさまざまな面から支援していただく「西浦南応援団」を地域から広く募集しており、多くの方々に登録をしていただいている。

本校のPTA活動も、その活動の目的とコミュニティ・スクールの目的が合致していることに着目し、その活動に協力し、できる限りバック

アップしていきたいと考えている。

(2) 研究の組織



【研究組織図】

PTA会長はPTAの代表として学校運営協議会の委員として参加し、学校運営や必要な支援に関する協議に参加している。また、学校活動において西浦南応援団のサポートを必要とする場合は、応援団に登録している方へ協力を呼びかけるとともに、PTA委員にも協力を募り、参加していただける方に御協力をいただいている。

3 実践活動の概要

(1) 学期末の授業後児童支援

本校では、働き方改革の一環として、学期末の1週間程度を授業短縮して、児童の下校時間を早めることで、担任の成績処理等を行う時間を確保する取組を進めている。これに対し、仕事をされている保護者の方から、「子どもの下校時刻に合わせて早く帰ることが難しい日もあるので、通常の下校時刻まで学校で児童を待機



【授業後の児童支援の様子】

させてほしい」という声が上がった。そこで、西浦南応援団やPTAに、学校で待機する児童の支援に御協力をお願いしたところ、数名の方から快く承諾をいただいた、和やかな雰囲気の中で、子どもたちは、宿題の見守りをさせていただいたり、読み聞かせをしていただいたり、西浦南応援団やPTAの方々との温かいやりとりをすることができた。「ふだんより宿題が進んでうれしい」との児童の声も聞かれた。

(2) 夏の環境整備作業

本校は校内の樹木や雑草が大変多く、例年、夏休みの後半にPTA主催の環境整備作業を行っていた。しかし、熱中症など健康被害も懸念されることから、9月の後半に環境整備作業を行うこととなった。その間に伸びた雑草や木々の剪定作業は多くの時間を費やすため、今年度より7月に2回、西浦南応援団とPTAのべ15名の方々に作業をしていただいた。草刈り機やチェーンソーなどの道具を持ち寄って効率的に作業が進み、環境を整えることができた。



【環境整備作業の様子】

(3) 読み聞かせ活動

本校では、読み聞かせを行うことによって情操を養い、読書への興味・関心を高めている。今回、西浦南応援団の方より、「地域の子どもたちに本の楽しさを味わわせたい」という思いから、読み聞かせ活動へ協力の申し出があった。



【読み聞かせ活動の様子】

当日は、児童との交流を大切にしたいという思いから、本を読むだけでなく、導入において児童とジャンケンをしたり、占いをしたりする光景が見られた。児童自身も応援団の方のお話

に集中して耳を傾ける姿が見られた。現在は、低学年を対象に行っているが、今後は全学年に対象を広げ、応援団の方と触れ合えるようにしていく予定である。

(4) 校外学習の引率補助

各学年が総合的な学習の時間や教科の学習活動として行っている校外学習は、学校を離れた活動であり、安全の確保が重要である。また、班ごとに分かれて少人数で活動することも多いため、よりきめ細やかな指導をするためにも、引率をする人の確保は欠かせない。しかし、本校は規模の小さな学校で、担任をもたない職員も少なく、引率する職員の確

保がとても難しい状況が多い。そのような理由から、引率補助を西浦南応援団やPTAに御協力をいただくことにした。

当日は元気に活動する児童の様子を温かく見守ったり、児童の疑問に優しく受け答えをしたりする姿が見られた。児童の安全確保はもちろんのこと、日頃から児童とのふれあいを求めている地域の方々はその機会をもつことができ、大変喜んでいた。



【校外学習引率補助の様子】

(5) 委員会主催「あいさつ運動」のサポート

本校では、学校生活目標の一つである元気な挨拶を行うことを目的に、体育・生活委員会の児童が学期に1回程度、「あいさつ運動」を行っている。地域の方々からも「西浦南小学校の児童に元気に挨拶ができるようになってほしい」という声がよく聞かれるため、西浦南応援団やPTAの方々に「あいさつ運動」への協力をしていただいた。



【委員会児童ともに挨拶を呼びかける】

西浦南応援団やPTAの方々が登校時に校門に立ってくださることで、登校する児童全員へ挨拶を呼びかけることができた。その結果、児童の挨拶への意識も高まってきたと感じる。

4 おわりに

学校・家庭・地域の三者が協力して目標やビジョンを共有し、地域人材を活用して児童とともに育てていくコミュニティ・スクール制度だが、多くのPTAや地域の方々にその趣旨を理解していただき、協力していただくことができた。その結果、児童のためにきめ細やかな取組を進められたことは大きかった。

今後も将来の地域の担い手を育てるための取組へのバックアップを継続し、PTAとしても学校のニーズに合った企画を学校運営協議会やPTA委員会等に提案し、地域の方々とともに取組を進めていくことで、地域社会との緊密な連携が図れると感じた。よりよい取組を今後も検討していきたい。